

## 岩屋の皇の墓



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	いわやのおうのはか
所在地	総社市奥坂
指定年月日	昭和30年7月19日
解説	無銘ではあるが、様式から判断して、鎌倉時代末期から室町時代初期の作と推定されている。花崗岩製の無縫塔[むほうとう]。総高1.19m。基礎・竿・中台は八角形、請花・塔身は円形、それらすべての部分が別石で造られている。岩屋寺縁起によると、文武天皇の皇子である善通大師が備中に下り、出家して岩屋寺を開いたとされる。「皇の墓」と呼ばれているのも、この伝承に由来している。岩屋寺は総社市北部の郊外の山上にあり、古代山岳仏教の拠点と考えられている。
アクセス方法	
公開状況	外観のみ
設備	
備考	